（第二版）（原稿配達）（明治一卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年一月二十一日（金曜日）臺灣日日新報 第一万三千五百九十九號

臺灣昌新報夕刊
一月二十日
編輯兼發行人 佐々木 寧
臺北市榮町四丁目第二番地
發行所 臺灣日日新報社
基隆市西定町七八五 基隆支局
臺中市寶町一〇七 臺中支局
臺南市開山町一〇七 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區阿波座上通一丁目（ヘラカビルディング内） 大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町一丁目（三菱ビル内） 東京支局

靴を丈夫にする
サンエッチ靴クリム

強硬決意披瀝

けふ地方長官會議で
首相が重要訓示

近衛首相の訓示

政策の羅列を廢し
重點主義的に樹立
國力充實四ヶ年計畫

【東京二十日發同盟】二十日の衆參兩院本會議に於ける近衛首相の施政方針演説は二十日午前より首相官邸に閣僚、政務次官、參與官、書記官長、法制局長官、内閣調査局長官、企畫廳次長、内閣情報部長、陸軍省軍務局長、海軍省軍務局長、大藏省主計局長、内務省警保局長、司法省刑事局長、文部省學務局長、農林省農務局長、商工省商務局長、逓信省電務局長、鐵道省運輸局長、拓務省拓務局長、興亞院政務部長、興亞院經濟部長、興亞院文化部長、興亞院連絡部長、興亞院技術部長、興亞院華中連絡部長、興亞院華北連絡部長、興亞院蒙疆連絡部長、興亞院華中連絡部第一課長、興亞院華北連絡部第一課長、興亞院蒙疆連絡部第一課長、興亞院華中連絡部第二課長、興亞院華北連絡部第二課長、興亞院蒙疆連絡部第二課長、興亞院華中連絡部第三課長、興亞院華北連絡部第三課長、興亞院蒙疆連絡部第三課長、興亞院華中連絡部第四課長、興亞院華北連絡部第四課長、興亞院蒙疆連絡部第四課長、興亞院華中連絡部第五課長、興亞院華北連絡部第五課長、興亞院蒙疆連絡部第五課長、興亞院華中連絡部第六課長、興亞院華北連絡部第六課長、興亞院蒙疆連絡部第六課長、興亞院華中連絡部第七課長、興亞院華北連絡部第七課長、興亞院蒙疆連絡部第七課長、興亞院華中連絡部第八課長、興亞院華北連絡部第八課長、興亞院蒙疆連絡部第八課長、興亞院華中連絡部第九課長、興亞院華北連絡部第九課長、興亞院蒙疆連絡部第九課長、興亞院華中連絡部第十課長、興亞院華北連絡部第十課長、興亞院蒙疆連絡部第十課長、興亞院華中連絡部第十一課長、興亞院華北連絡部第十一課長、興亞院蒙疆連絡部第十一課長、興亞院華中連絡部第十二課長、興亞院華北連絡部第十二課長、興亞院蒙疆連絡部第十二課長、興亞院華中連絡部第十三課長、興亞院華北連絡部第十三課長、興亞院蒙疆連絡部第十三課長、興亞院華中連絡部第十四課長、興亞院華北連絡部第十四課長、興亞院蒙疆連絡部第十四課長、興亞院華中連絡部第十五課長、興亞院華北連絡部第十五課長、興亞院蒙疆連絡部第十五課長、興亞院華中連絡部第十六課長、興亞院華北連絡部第十六課長、興亞院蒙疆連絡部第十六課長、興亞院華中連絡部第十七課長、興亞院華北連絡部第十七課長、興亞院蒙疆連絡部第十七課長、興亞院華中連絡部第十八課長、興亞院華北連絡部第十八課長、興亞院蒙疆連絡部第十八課長、興亞院華中連絡部第十九課長、興亞院華北連絡部第十九課長、興亞院蒙疆連絡部第十九課長、興亞院華中連絡部第二十課長、興亞院華北連絡部第二十課長、興亞院蒙疆連絡部第二十課長、興亞院華中連絡部第二十一課長、興亞院華北連絡部第二十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二十一課長、興亞院華中連絡部第二十二課長、興亞院華北連絡部第二十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二十二課長、興亞院華中連絡部第二十三課長、興亞院華北連絡部第二十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二十三課長、興亞院華中連絡部第二十四課長、興亞院華北連絡部第二十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二十四課長、興亞院華中連絡部第二十五課長、興亞院華北連絡部第二十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二十五課長、興亞院華中連絡部第二十六課長、興亞院華北連絡部第二十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二十六課長、興亞院華中連絡部第二十七課長、興亞院華北連絡部第二十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二十七課長、興亞院華中連絡部第二十八課長、興亞院華北連絡部第二十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二十八課長、興亞院華中連絡部第二十九課長、興亞院華北連絡部第二十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二十九課長、興亞院華中連絡部第三十課長、興亞院華北連絡部第三十課長、興亞院蒙疆連絡部第三十課長、興亞院華中連絡部第三十一課長、興亞院華北連絡部第三十一課長、興亞院蒙疆連絡部第三十一課長、興亞院華中連絡部第三十二課長、興亞院華北連絡部第三十二課長、興亞院蒙疆連絡部第三十二課長、興亞院華中連絡部第三十三課長、興亞院華北連絡部第三十三課長、興亞院蒙疆連絡部第三十三課長、興亞院華中連絡部第三十四課長、興亞院華北連絡部第三十四課長、興亞院蒙疆連絡部第三十四課長、興亞院華中連絡部第三十五課長、興亞院華北連絡部第三十五課長、興亞院蒙疆連絡部第三十五課長、興亞院華中連絡部第三十六課長、興亞院華北連絡部第三十六課長、興亞院蒙疆連絡部第三十六課長、興亞院華中連絡部第三十七課長、興亞院華北連絡部第三十七課長、興亞院蒙疆連絡部第三十七課長、興亞院華中連絡部第三十八課長、興亞院華北連絡部第三十八課長、興亞院蒙疆連絡部第三十八課長、興亞院華中連絡部第三十九課長、興亞院華北連絡部第三十九課長、興亞院蒙疆連絡部第三十九課長、興亞院華中連絡部第四十課長、興亞院華北連絡部第四十課長、興亞院蒙疆連絡部第四十課長、興亞院華中連絡部第四十一課長、興亞院華北連絡部第四十一課長、興亞院蒙疆連絡部第四十一課長、興亞院華中連絡部第四十二課長、興亞院華北連絡部第四十二課長、興亞院蒙疆連絡部第四十二課長、興亞院華中連絡部第四十三課長、興亞院華北連絡部第四十三課長、興亞院蒙疆連絡部第四十三課長、興亞院華中連絡部第四十四課長、興亞院華北連絡部第四十四課長、興亞院蒙疆連絡部第四十四課長、興亞院華中連絡部第四十五課長、興亞院華北連絡部第四十五課長、興亞院蒙疆連絡部第四十五課長、興亞院華中連絡部第四十六課長、興亞院華北連絡部第四十六課長、興亞院蒙疆連絡部第四十六課長、興亞院華中連絡部第四十七課長、興亞院華北連絡部第四十七課長、興亞院蒙疆連絡部第四十七課長、興亞院華中連絡部第四十八課長、興亞院華北連絡部第四十八課長、興亞院蒙疆連絡部第四十八課長、興亞院華中連絡部第四十九課長、興亞院華北連絡部第四十九課長、興亞院蒙疆連絡部第四十九課長、興亞院華中連絡部第五十課長、興亞院華北連絡部第五十課長、興亞院蒙疆連絡部第五十課長、興亞院華中連絡部第五十一課長、興亞院華北連絡部第五十一課長、興亞院蒙疆連絡部第五十一課長、興亞院華中連絡部第五十二課長、興亞院華北連絡部第五十二課長、興亞院蒙疆連絡部第五十二課長、興亞院華中連絡部第五十三課長、興亞院華北連絡部第五十三課長、興亞院蒙疆連絡部第五十三課長、興亞院華中連絡部第五十四課長、興亞院華北連絡部第五十四課長、興亞院蒙疆連絡部第五十四課長、興亞院華中連絡部第五十五課長、興亞院華北連絡部第五十五課長、興亞院蒙疆連絡部第五十五課長、興亞院華中連絡部第五十六課長、興亞院華北連絡部第五十六課長、興亞院蒙疆連絡部第五十六課長、興亞院華中連絡部第五十七課長、興亞院華北連絡部第五十七課長、興亞院蒙疆連絡部第五十七課長、興亞院華中連絡部第五十八課長、興亞院華北連絡部第五十八課長、興亞院蒙疆連絡部第五十八課長、興亞院華中連絡部第五十九課長、興亞院華北連絡部第五十九課長、興亞院蒙疆連絡部第五十九課長、興亞院華中連絡部第六十課長、興亞院華北連絡部第六十課長、興亞院蒙疆連絡部第六十課長、興亞院華中連絡部第六十一課長、興亞院華北連絡部第六十一課長、興亞院蒙疆連絡部第六十一課長、興亞院華中連絡部第六十二課長、興亞院華北連絡部第六十二課長、興亞院蒙疆連絡部第六十二課長、興亞院華中連絡部第六十三課長、興亞院華北連絡部第六十三課長、興亞院蒙疆連絡部第六十三課長、興亞院華中連絡部第六十四課長、興亞院華北連絡部第六十四課長、興亞院蒙疆連絡部第六十四課長、興亞院華中連絡部第六十五課長、興亞院華北連絡部第六十五課長、興亞院蒙疆連絡部第六十五課長、興亞院華中連絡部第六十六課長、興亞院華北連絡部第六十六課長、興亞院蒙疆連絡部第六十六課長、興亞院華中連絡部第六十七課長、興亞院華北連絡部第六十七課長、興亞院蒙疆連絡部第六十七課長、興亞院華中連絡部第六十八課長、興亞院華北連絡部第六十八課長、興亞院蒙疆連絡部第六十八課長、興亞院華中連絡部第六十九課長、興亞院華北連絡部第六十九課長、興亞院蒙疆連絡部第六十九課長、興亞院華中連絡部第七十課長、興亞院華北連絡部第七十課長、興亞院蒙疆連絡部第七十課長、興亞院華中連絡部第七十一課長、興亞院華北連絡部第七十一課長、興亞院蒙疆連絡部第七十一課長、興亞院華中連絡部第七十二課長、興亞院華北連絡部第七十二課長、興亞院蒙疆連絡部第七十二課長、興亞院華中連絡部第七十三課長、興亞院華北連絡部第七十三課長、興亞院蒙疆連絡部第七十三課長、興亞院華中連絡部第七十四課長、興亞院華北連絡部第七十四課長、興亞院蒙疆連絡部第七十四課長、興亞院華中連絡部第七十五課長、興亞院華北連絡部第七十五課長、興亞院蒙疆連絡部第七十五課長、興亞院華中連絡部第七十六課長、興亞院華北連絡部第七十六課長、興亞院蒙疆連絡部第七十六課長、興亞院華中連絡部第七十七課長、興亞院華北連絡部第七十七課長、興亞院蒙疆連絡部第七十七課長、興亞院華中連絡部第七十八課長、興亞院華北連絡部第七十八課長、興亞院蒙疆連絡部第七十八課長、興亞院華中連絡部第七十九課長、興亞院華北連絡部第七十九課長、興亞院蒙疆連絡部第七十九課長、興亞院華中連絡部第八十課長、興亞院華北連絡部第八十課長、興亞院蒙疆連絡部第八十課長、興亞院華中連絡部第八十一課長、興亞院華北連絡部第八十一課長、興亞院蒙疆連絡部第八十一課長、興亞院華中連絡部第八十二課長、興亞院華北連絡部第八十二課長、興亞院蒙疆連絡部第八十二課長、興亞院華中連絡部第八十三課長、興亞院華北連絡部第八十三課長、興亞院蒙疆連絡部第八十三課長、興亞院華中連絡部第八十四課長、興亞院華北連絡部第八十四課長、興亞院蒙疆連絡部第八十四課長、興亞院華中連絡部第八十五課長、興亞院華北連絡部第八十五課長、興亞院蒙疆連絡部第八十五課長、興亞院華中連絡部第八十六課長、興亞院華北連絡部第八十六課長、興亞院蒙疆連絡部第八十六課長、興亞院華中連絡部第八十七課長、興亞院華北連絡部第八十七課長、興亞院蒙疆連絡部第八十七課長、興亞院華中連絡部第八十八課長、興亞院華北連絡部第八十八課長、興亞院蒙疆連絡部第八十八課長、興亞院華中連絡部第八十九課長、興亞院華北連絡部第八十九課長、興亞院蒙疆連絡部第八十九課長、興亞院華中連絡部第九十課長、興亞院華北連絡部第九十課長、興亞院蒙疆連絡部第九十課長、興亞院華中連絡部第九十一課長、興亞院華北連絡部第九十一課長、興亞院蒙疆連絡部第九十一課長、興亞院華中連絡部第九十二課長、興亞院華北連絡部第九十二課長、興亞院蒙疆連絡部第九十二課長、興亞院華中連絡部第九十三課長、興亞院華北連絡部第九十三課長、興亞院蒙疆連絡部第九十三課長、興亞院華中連絡部第九十四課長、興亞院華北連絡部第九十四課長、興亞院蒙疆連絡部第九十四課長、興亞院華中連絡部第九十五課長、興亞院華北連絡部第九十五課長、興亞院蒙疆連絡部第九十五課長、興亞院華中連絡部第九十六課長、興亞院華北連絡部第九十六課長、興亞院蒙疆連絡部第九十六課長、興亞院華中連絡部第九十七課長、興亞院華北連絡部第九十七課長、興亞院蒙疆連絡部第九十七課長、興亞院華中連絡部第九十八課長、興亞院華北連絡部第九十八課長、興亞院蒙疆連絡部第九十八課長、興亞院華中連絡部第九十九課長、興亞院華北連絡部第九十九課長、興亞院蒙疆連絡部第九十九課長、興亞院華中連絡部第百課長、興亞院華北連絡部第百課長、興亞院蒙疆連絡部第百課長、興亞院華中連絡部第百一課長、興亞院華北連絡部第百一課長、興亞院蒙疆連絡部第百一課長、興亞院華中連絡部第百二課長、興亞院華北連絡部第百二課長、興亞院蒙疆連絡部第百二課長、興亞院華中連絡部第百三課長、興亞院華北連絡部第百三課長、興亞院蒙疆連絡部第百三課長、興亞院華中連絡部第百四課長、興亞院華北連絡部第百四課長、興亞院蒙疆連絡部第百四課長、興亞院華中連絡部第百五課長、興亞院華北連絡部第百五課長、興亞院蒙疆連絡部第百五課長、興亞院華中連絡部第百六課長、興亞院華北連絡部第百六課長、興亞院蒙疆連絡部第百六課長、興亞院華中連絡部第百七課長、興亞院華北連絡部第百七課長、興亞院蒙疆連絡部第百七課長、興亞院華中連絡部第百八課長、興亞院華北連絡部第百八課長、興亞院蒙疆連絡部第百八課長、興亞院華中連絡部第百九課長、興亞院華北連絡部第百九課長、興亞院蒙疆連絡部第百九課長、興亞院華中連絡部第百十課長、興亞院華北連絡部第百十課長、興亞院蒙疆連絡部第百十課長、興亞院華中連絡部第百十一課長、興亞院華北連絡部第百十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百十一課長、興亞院華中連絡部第百十二課長、興亞院華北連絡部第百十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百十二課長、興亞院華中連絡部第百十三課長、興亞院華北連絡部第百十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百十三課長、興亞院華中連絡部第百十四課長、興亞院華北連絡部第百十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百十四課長、興亞院華中連絡部第百十五課長、興亞院華北連絡部第百十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百十五課長、興亞院華中連絡部第百十六課長、興亞院華北連絡部第百十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百十六課長、興亞院華中連絡部第百十七課長、興亞院華北連絡部第百十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百十七課長、興亞院華中連絡部第百十八課長、興亞院華北連絡部第百十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百十八課長、興亞院華中連絡部第百十九課長、興亞院華北連絡部第百十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百十九課長、興亞院華中連絡部第百二十課長、興亞院華北連絡部第百二十課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十課長、興亞院華中連絡部第百二十一課長、興亞院華北連絡部第百二十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十一課長、興亞院華中連絡部第百二十二課長、興亞院華北連絡部第百二十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十二課長、興亞院華中連絡部第百二十三課長、興亞院華北連絡部第百二十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十三課長、興亞院華中連絡部第百二十四課長、興亞院華北連絡部第百二十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十四課長、興亞院華中連絡部第百二十五課長、興亞院華北連絡部第百二十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十五課長、興亞院華中連絡部第百二十六課長、興亞院華北連絡部第百二十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十六課長、興亞院華中連絡部第百二十七課長、興亞院華北連絡部第百二十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十七課長、興亞院華中連絡部第百二十八課長、興亞院華北連絡部第百二十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十八課長、興亞院華中連絡部第百二十九課長、興亞院華北連絡部第百二十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百二十九課長、興亞院華中連絡部第百三十課長、興亞院華北連絡部第百三十課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十課長、興亞院華中連絡部第百三十一課長、興亞院華北連絡部第百三十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十一課長、興亞院華中連絡部第百三十二課長、興亞院華北連絡部第百三十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十二課長、興亞院華中連絡部第百三十三課長、興亞院華北連絡部第百三十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十三課長、興亞院華中連絡部第百三十四課長、興亞院華北連絡部第百三十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十四課長、興亞院華中連絡部第百三十五課長、興亞院華北連絡部第百三十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十五課長、興亞院華中連絡部第百三十六課長、興亞院華北連絡部第百三十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十六課長、興亞院華中連絡部第百三十七課長、興亞院華北連絡部第百三十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十七課長、興亞院華中連絡部第百三十八課長、興亞院華北連絡部第百三十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十八課長、興亞院華中連絡部第百三十九課長、興亞院華北連絡部第百三十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百三十九課長、興亞院華中連絡部第百四十課長、興亞院華北連絡部第百四十課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十課長、興亞院華中連絡部第百四十一課長、興亞院華北連絡部第百四十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十一課長、興亞院華中連絡部第百四十二課長、興亞院華北連絡部第百四十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十二課長、興亞院華中連絡部第百四十三課長、興亞院華北連絡部第百四十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十三課長、興亞院華中連絡部第百四十四課長、興亞院華北連絡部第百四十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十四課長、興亞院華中連絡部第百四十五課長、興亞院華北連絡部第百四十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十五課長、興亞院華中連絡部第百四十六課長、興亞院華北連絡部第百四十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十六課長、興亞院華中連絡部第百四十七課長、興亞院華北連絡部第百四十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十七課長、興亞院華中連絡部第百四十八課長、興亞院華北連絡部第百四十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十八課長、興亞院華中連絡部第百四十九課長、興亞院華北連絡部第百四十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百四十九課長、興亞院華中連絡部第百五十課長、興亞院華北連絡部第百五十課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十課長、興亞院華中連絡部第百五十一課長、興亞院華北連絡部第百五十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十一課長、興亞院華中連絡部第百五十二課長、興亞院華北連絡部第百五十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十二課長、興亞院華中連絡部第百五十三課長、興亞院華北連絡部第百五十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十三課長、興亞院華中連絡部第百五十四課長、興亞院華北連絡部第百五十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十四課長、興亞院華中連絡部第百五十五課長、興亞院華北連絡部第百五十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十五課長、興亞院華中連絡部第百五十六課長、興亞院華北連絡部第百五十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十六課長、興亞院華中連絡部第百五十七課長、興亞院華北連絡部第百五十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十七課長、興亞院華中連絡部第百五十八課長、興亞院華北連絡部第百五十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十八課長、興亞院華中連絡部第百五十九課長、興亞院華北連絡部第百五十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百五十九課長、興亞院華中連絡部第百六十課長、興亞院華北連絡部第百六十課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十課長、興亞院華中連絡部第百六十一課長、興亞院華北連絡部第百六十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十一課長、興亞院華中連絡部第百六十二課長、興亞院華北連絡部第百六十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十二課長、興亞院華中連絡部第百六十三課長、興亞院華北連絡部第百六十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十三課長、興亞院華中連絡部第百六十四課長、興亞院華北連絡部第百六十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十四課長、興亞院華中連絡部第百六十五課長、興亞院華北連絡部第百六十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十五課長、興亞院華中連絡部第百六十六課長、興亞院華北連絡部第百六十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十六課長、興亞院華中連絡部第百六十七課長、興亞院華北連絡部第百六十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十七課長、興亞院華中連絡部第百六十八課長、興亞院華北連絡部第百六十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十八課長、興亞院華中連絡部第百六十九課長、興亞院華北連絡部第百六十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百六十九課長、興亞院華中連絡部第百七十課長、興亞院華北連絡部第百七十課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十課長、興亞院華中連絡部第百七十一課長、興亞院華北連絡部第百七十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十一課長、興亞院華中連絡部第百七十二課長、興亞院華北連絡部第百七十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十二課長、興亞院華中連絡部第百七十三課長、興亞院華北連絡部第百七十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十三課長、興亞院華中連絡部第百七十四課長、興亞院華北連絡部第百七十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十四課長、興亞院華中連絡部第百七十五課長、興亞院華北連絡部第百七十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十五課長、興亞院華中連絡部第百七十六課長、興亞院華北連絡部第百七十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十六課長、興亞院華中連絡部第百七十七課長、興亞院華北連絡部第百七十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十七課長、興亞院華中連絡部第百七十八課長、興亞院華北連絡部第百七十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十八課長、興亞院華中連絡部第百七十九課長、興亞院華北連絡部第百七十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百七十九課長、興亞院華中連絡部第百八十課長、興亞院華北連絡部第百八十課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十課長、興亞院華中連絡部第百八十一課長、興亞院華北連絡部第百八十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十一課長、興亞院華中連絡部第百八十二課長、興亞院華北連絡部第百八十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十二課長、興亞院華中連絡部第百八十三課長、興亞院華北連絡部第百八十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十三課長、興亞院華中連絡部第百八十四課長、興亞院華北連絡部第百八十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十四課長、興亞院華中連絡部第百八十五課長、興亞院華北連絡部第百八十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十五課長、興亞院華中連絡部第百八十六課長、興亞院華北連絡部第百八十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十六課長、興亞院華中連絡部第百八十七課長、興亞院華北連絡部第百八十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十七課長、興亞院華中連絡部第百八十八課長、興亞院華北連絡部第百八十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十八課長、興亞院華中連絡部第百八十九課長、興亞院華北連絡部第百八十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百八十九課長、興亞院華中連絡部第百九十課長、興亞院華北連絡部第百九十課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十課長、興亞院華中連絡部第百九十一課長、興亞院華北連絡部第百九十一課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十一課長、興亞院華中連絡部第百九十二課長、興亞院華北連絡部第百九十二課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十二課長、興亞院華中連絡部第百九十三課長、興亞院華北連絡部第百九十三課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十三課長、興亞院華中連絡部第百九十四課長、興亞院華北連絡部第百九十四課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十四課長、興亞院華中連絡部第百九十五課長、興亞院華北連絡部第百九十五課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十五課長、興亞院華中連絡部第百九十六課長、興亞院華北連絡部第百九十六課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十六課長、興亞院華中連絡部第百九十七課長、興亞院華北連絡部第百九十七課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十七課長、興亞院華中連絡部第百九十八課長、興亞院華北連絡部第百九十八課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十八課長、興亞院華中連絡部第百九十九課長、興亞院華北連絡部第百九十九課長、興亞院蒙疆連絡部第百九十九課長、興亞院華中連絡部第二百課長、興亞院華北連絡部第二百課長、興亞院蒙疆連絡部第二百課長、興亞院華中連絡部第二百一課長、興亞院華北連絡部第二百一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百一課長、興亞院華中連絡部第二百二課長、興亞院華北連絡部第二百二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二課長、興亞院華中連絡部第二百三課長、興亞院華北連絡部第二百三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三課長、興亞院華中連絡部第二百四課長、興亞院華北連絡部第二百四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四課長、興亞院華中連絡部第二百五課長、興亞院華北連絡部第二百五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五課長、興亞院華中連絡部第二百六課長、興亞院華北連絡部第二百六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六課長、興亞院華中連絡部第二百七課長、興亞院華北連絡部第二百七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七課長、興亞院華中連絡部第二百八課長、興亞院華北連絡部第二百八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百八課長、興亞院華中連絡部第二百九課長、興亞院華北連絡部第二百九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百九課長、興亞院華中連絡部第二百十課長、興亞院華北連絡部第二百十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十課長、興亞院華中連絡部第二百十一課長、興亞院華北連絡部第二百十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十一課長、興亞院華中連絡部第二百十二課長、興亞院華北連絡部第二百十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十二課長、興亞院華中連絡部第二百十三課長、興亞院華北連絡部第二百十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十三課長、興亞院華中連絡部第二百十四課長、興亞院華北連絡部第二百十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十四課長、興亞院華中連絡部第二百十五課長、興亞院華北連絡部第二百十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十五課長、興亞院華中連絡部第二百十六課長、興亞院華北連絡部第二百十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十六課長、興亞院華中連絡部第二百十七課長、興亞院華北連絡部第二百十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十七課長、興亞院華中連絡部第二百十八課長、興亞院華北連絡部第二百十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十八課長、興亞院華中連絡部第二百十九課長、興亞院華北連絡部第二百十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百十九課長、興亞院華中連絡部第二百二十課長、興亞院華北連絡部第二百二十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十課長、興亞院華中連絡部第二百二十一課長、興亞院華北連絡部第二百二十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十一課長、興亞院華中連絡部第二百二十二課長、興亞院華北連絡部第二百二十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十二課長、興亞院華中連絡部第二百二十三課長、興亞院華北連絡部第二百二十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十三課長、興亞院華中連絡部第二百二十四課長、興亞院華北連絡部第二百二十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十四課長、興亞院華中連絡部第二百二十五課長、興亞院華北連絡部第二百二十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十五課長、興亞院華中連絡部第二百二十六課長、興亞院華北連絡部第二百二十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十六課長、興亞院華中連絡部第二百二十七課長、興亞院華北連絡部第二百二十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十七課長、興亞院華中連絡部第二百二十八課長、興亞院華北連絡部第二百二十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十八課長、興亞院華中連絡部第二百二十九課長、興亞院華北連絡部第二百二十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百二十九課長、興亞院華中連絡部第二百三十課長、興亞院華北連絡部第二百三十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十課長、興亞院華中連絡部第二百三十一課長、興亞院華北連絡部第二百三十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十一課長、興亞院華中連絡部第二百三十二課長、興亞院華北連絡部第二百三十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十二課長、興亞院華中連絡部第二百三十三課長、興亞院華北連絡部第二百三十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十三課長、興亞院華中連絡部第二百三十四課長、興亞院華北連絡部第二百三十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十四課長、興亞院華中連絡部第二百三十五課長、興亞院華北連絡部第二百三十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十五課長、興亞院華中連絡部第二百三十六課長、興亞院華北連絡部第二百三十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十六課長、興亞院華中連絡部第二百三十七課長、興亞院華北連絡部第二百三十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十七課長、興亞院華中連絡部第二百三十八課長、興亞院華北連絡部第二百三十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十八課長、興亞院華中連絡部第二百三十九課長、興亞院華北連絡部第二百三十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百三十九課長、興亞院華中連絡部第二百四十課長、興亞院華北連絡部第二百四十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十課長、興亞院華中連絡部第二百四十一課長、興亞院華北連絡部第二百四十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十一課長、興亞院華中連絡部第二百四十二課長、興亞院華北連絡部第二百四十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十二課長、興亞院華中連絡部第二百四十三課長、興亞院華北連絡部第二百四十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十三課長、興亞院華中連絡部第二百四十四課長、興亞院華北連絡部第二百四十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十四課長、興亞院華中連絡部第二百四十五課長、興亞院華北連絡部第二百四十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十五課長、興亞院華中連絡部第二百四十六課長、興亞院華北連絡部第二百四十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十六課長、興亞院華中連絡部第二百四十七課長、興亞院華北連絡部第二百四十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十七課長、興亞院華中連絡部第二百四十八課長、興亞院華北連絡部第二百四十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十八課長、興亞院華中連絡部第二百四十九課長、興亞院華北連絡部第二百四十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百四十九課長、興亞院華中連絡部第二百五十課長、興亞院華北連絡部第二百五十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十課長、興亞院華中連絡部第二百五十一課長、興亞院華北連絡部第二百五十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十一課長、興亞院華中連絡部第二百五十二課長、興亞院華北連絡部第二百五十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十二課長、興亞院華中連絡部第二百五十三課長、興亞院華北連絡部第二百五十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十三課長、興亞院華中連絡部第二百五十四課長、興亞院華北連絡部第二百五十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十四課長、興亞院華中連絡部第二百五十五課長、興亞院華北連絡部第二百五十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十五課長、興亞院華中連絡部第二百五十六課長、興亞院華北連絡部第二百五十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十六課長、興亞院華中連絡部第二百五十七課長、興亞院華北連絡部第二百五十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十七課長、興亞院華中連絡部第二百五十八課長、興亞院華北連絡部第二百五十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十八課長、興亞院華中連絡部第二百五十九課長、興亞院華北連絡部第二百五十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百五十九課長、興亞院華中連絡部第二百六十課長、興亞院華北連絡部第二百六十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十課長、興亞院華中連絡部第二百六十一課長、興亞院華北連絡部第二百六十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十一課長、興亞院華中連絡部第二百六十二課長、興亞院華北連絡部第二百六十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十二課長、興亞院華中連絡部第二百六十三課長、興亞院華北連絡部第二百六十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十三課長、興亞院華中連絡部第二百六十四課長、興亞院華北連絡部第二百六十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十四課長、興亞院華中連絡部第二百六十五課長、興亞院華北連絡部第二百六十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十五課長、興亞院華中連絡部第二百六十六課長、興亞院華北連絡部第二百六十六課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十六課長、興亞院華中連絡部第二百六十七課長、興亞院華北連絡部第二百六十七課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十七課長、興亞院華中連絡部第二百六十八課長、興亞院華北連絡部第二百六十八課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十八課長、興亞院華中連絡部第二百六十九課長、興亞院華北連絡部第二百六十九課長、興亞院蒙疆連絡部第二百六十九課長、興亞院華中連絡部第二百七十課長、興亞院華北連絡部第二百七十課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七十課長、興亞院華中連絡部第二百七十一課長、興亞院華北連絡部第二百七十一課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七十一課長、興亞院華中連絡部第二百七十二課長、興亞院華北連絡部第二百七十二課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七十二課長、興亞院華中連絡部第二百七十三課長、興亞院華北連絡部第二百七十三課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七十三課長、興亞院華中連絡部第二百七十四課長、興亞院華北連絡部第二百七十四課長、興亞院蒙疆連絡部第二百七十四課長、興亞院華中連絡部第二百七十五課長、興亞院華北連絡部第二百七十五課長、興亞院蒙疆連絡部第二百

日本人小學校に投石
女生徒が重傷を負ふ
犯人は支那人　又復新嘉坡に不祥事

【シンガポール十九日發本社特電】十九日午前十一時二十分頃シンガポール日本人小學校に暴漢數名が集團的に投石し、女生徒が集團的に投石し、女生徒が集團的に投石し、女生徒

（可認物便郵種三第）

どもりは悪癖だ 必ず矯正出來る

吃音者よ、光明を見よ

丸尾重一

吃音は癖であつて病氣ではない。不具でもない。從つて必ず癒し正出來るものである——吃音矯正には此の自信を持つことが第一です。訓練であるから練の體用や、矯正器と稱する器具をほとんど必要としません。原因の大部分は模倣や惡習慣の遊びに過ぎないことを知つておく必要があります。學校や近隣の遊び仲間に吃る子供があると、それを面白半分に眞似てゐるうちに自然に癖癒して仕舞ふ場合が非常に多い。幼年の時期は幼少時代で、小學校の初學年時代に發生したものが大部分であると云ふ事實は、世の吃音者を有たの特に注意すべきことである。然らば模倣をすれば何故癖癒するかと云へば、吃音者の不正な發音の仕方、即ち呼吸の調子を亂したり、聲をはき出して殘つた僅かの聲と言葉に發音しようとしたり、喉頭をしめて發音し易い點切れのするやうな音の出し方を練習するから途にそれが癖になつて仕舞ふ。そのために吃ると云ふ自覺を持つやうになり、遂に本物の吃りとなつて苦しむのである。即ち自分に吃りとなつて仕舞つたと云ふ自覺を持つと、言葉に對し非常に不安を感じ、吃りはしないか、話はわかつてもらへるかと云ふ恐怖心を抱くやうになるものである。けれども吃りは惡癖ではない。なほる吃りをほとんどないで吃つてゐるのが惡である云ふ點を充分理解し、常に落ち着いて發音に努力すれば必ず全治する。即ち兄及び師も此の信念を以て吃音者の指導法としては

○呼吸器に氣をつけさせて胸を使はないで必ず腹で息をする樣、喉を楽にして聲は下腹から出すこと

○必ずゆつくりはせること

○云ひ出しの音を下げてから引くこと

○吃つても笑つたり吃音を云はないで發音に總力を集中すること

○正しい發音法を示してそれを模倣させ必ず云へると云ふ確信をつけること

○常に自己の缺陷を悲觀せず樂觀的に考へ世界に偉人と稱せらるる人物の中にも吃音者が非常に多かつたと云ふ事實を知つて自己の缺陷を克服する努力と勇氣とが大切である。かくしてスラ〳〵云へるやうになつたら褒めてやつて心を引立て氣を勵ましてやると云ふ樣に對する自信力は强まり吃癖とはなくなり、知らず〳〵

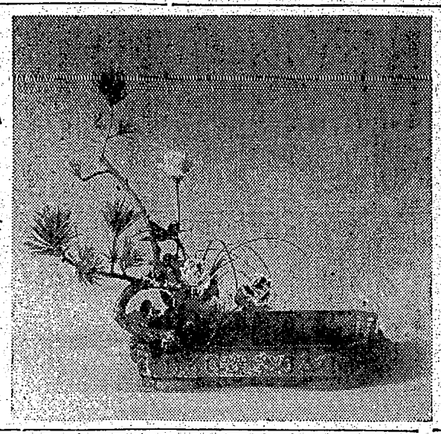
手拭なりやこそ こんな利用法！

紅毛碧眼氏もびつくり

日本人の生活に、深い繋がりを持つてゐる手拭——ものの本に依れば昔は、婦人が頭巾を用ひなかつたので、頭巾する時期の流れ行く前に、手拭は既に利用されてゐたと云ふ事實からも、その一般的なことが想像されます。從つて手拭の利用法は、實に千差萬別、種々雑多であるが、ここに紹介するのは、ほんの一部に過ぎないが、それでも、日本人の生活の中に、如何に手拭が、深い繋がりを持つてゐるかを、知つて頂けるであらう。

神苑朝

（花菖蒲松、バラ、春蘭。花器は青銅花瓶。苔つきの黒松を中心として頭上みせ模樣に春蘭をあしらひ春のさを出しました。上品バラは殘らず全部を引きしめるに十分です。春蘭とバラの優しい隣り合の氣分を味はせ、何れもお目出度い花材の取合です。



姿勢から起る婦人病

さう云ふ病と腹の腰まわりの立派けの姿勢は、第二下腹部から腰部を壓迫して骨盤内に血が溜つて血行が惡くなり、子宮の營養血液を起します。下腹が壓る程はありませんが、それは血液が下部に充血して起る現象で子宮も同樣です。斯う云ふ事が毎日々々續くと子宮の位置が變つて、後の方へ傾いたり餘くなると後へ曲つて終ふのです。それが子宮疾病の原因と云つて醫業婦人には大變多い病氣で不姙症の原因でもあり、白帶下、腰痛の原因です。

冷えに伴ふ種々の痛み

姿勢を惡ふ放置して置きますと、それだけでも腰が冷えます。殊に婦人部に入浴があつても、コンクリート床や疊き上げた床からジンとはひ昇る寒さは下腹から腰部に浸み込むのは當然です。冷えが血液の循環を止めて終ふ事は、罹病げが良い例です。それが腰部腰部の中央に起るので、子宮に影響が起ります。

すると腰の芯が始めはだるさだけですが次第に疼痛みがして來て下腹が張る樣に重苦しくなり內臓へかけてツン〳〵引張る樣な痛みが起ります。

姿勢を惡くしない注意

御手紙拜見しましたね。同情するわ。此處へ轉地なさるに決めたのはあたしたちだわれ、こう云ふ處にゐる人は夜遊く座敷につかれずに働くコンクリート冷えをするのよ。それに、寢室をお店を出ると夜道の續りついた廊道から吹き上げる寒の强な風、こんな事が毎晩毎晩續くんですもの、厭いな女性の身に決つてるわね。下腹が張り脹つて腰が痛むやうになつてゐるのは、婦人病にかゝつてゐるのですが、醫師にも進んで女性がでゝ行くと、手拭用手によく效つてゐるものですが、實にこれが出來るかどうかゞ……よく、この話が出るものです。

★……手につける藥品としては第一に、火力が强くなければいけないこと、第二に、殺菌作用ヂオダメ、昇汞水ヂオラ、第三に、赤ヂラを水から煮立てること、第四にカルメラ燒の小鍋は銅製に限ること但し鐵製には注意）第五にドロリとして、絲を引くやうになつた時、火から下ろすと同時に、手早く、藥指の先の樣（頭は丸い方がいい）の先に、重曹をちよつとつけて、グルグルと早く混ぜ合せ、上へ頭り加減に膨らませて、又、直ぐ下へ落ちて來ること、これがコツです

★……そこで、上手に作る方法について述べる前に、一言申しておきたいと思います、自然から草木を採集しないこと、風致美觀を損ねる恐れがあるからです。名木の採集は絶對に慎まなければなりません。

×

御切時は朝露のある時か夕方が良く草類は成育と長く切取ること露との調和や取合せを考へ、無駄にならぬ樣にすること、切取りたるものは根本を傷つけて新芽が風當りに當たらぬ樣に包み、日光にあたらぬ樣に活けること。

×

家に活ける場合には、直ちに水を注いで新聞紙に包んだ儘、風のあたらない所に一晩置いたものです。

×

それから花活の採集のことに就いて一言申しておきたいと思います、自然から草木を採集するのに手段を選ばずには困ります、殺生なく他人の山野の草木を採集しないこと、風致美觀を損ねぬ樣注意すること、

國定忠次 (158)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

旅枕の女（十）

と、急つて打消らうとする弟を荒らせず、

「いけねえ、喜るた」

「喜るたなどいつて親分、打棄つといてどうなるんです」

「良いのだいいのだ。放心してろ」

曲者は眼玉に角に光らせ、歯を剝いて、

「畜生め、畜生め。近寄つてみろ直が飛ぶぞ」

際といふ際つたのが断で、総ち世間の外へ、遁出した様のやうに逃げた。

外では四親が待受けてゐる、逃げて出たばかりの曲者が、二三十ケ所傷をこさへてゐる現場かりに眼が眩めき、眩いてゐる間へ飛んで出て、

「それツ」

聲掛で打つた、が、曲者は最早の人影がなからしく、眼は瞬いてゐるが、呼に際し、

「何処だ」

「あれゝ。あゝ、さうか洞食らつて

「だツ」

曲者が伏ぜた。見てゐた二家のものが、屋敷の者と一緒になつてどよめいた。

忠次も付いて行つた者も、世間の紙下に出て、それを暗迷朝した。

我国における煙草の資料としては、煙草と煙草とは、因縁浅からざるものがあるが、殊にわが国には、煙草関の煙管と共に、ここに、多くの煙出した喫煙具を残してゐる。今、参考までにわが煙管関の煙管資料の中から、その一部をスクラップすれば、次のやうである。

◇　◇　◇

一、花模様煙管（盛の逆千本の松と銀細なおしづ）　初代　豊國（嘉永十年）
一、仇討煙管資（小いなおいち）　同　豊國（嘉永十二年）
一、江戸名所二階之圖　同　利（年月不詳）
一、御ぐんじの五大力　同　（年月不詳）
一、御殿飾附（金襴菱九郎）　同　豊國（年月不詳）
一、酒川路考音羽屋　初代　豊國（文化元年）
一、吉原城の番附（細附とおたか）　同　豊國（文化元年）
一、是豊煙管図絵巻（前編十五組）　初代　豊國（文化元年）
一、心錦御存知（小糸佐七）　同　（文化七年）
一、役者似顔（うんざりお松）　同　（文化七年）
一、男嫉浪花紋（鍛冶住兵衛）　同　（文化七年）
一、四天王橋供（山姥）　同　（文化七年）
一、役者勘当見立（文化世話風俗六歌仙）　同　（文化七年）
一、初代歌川豊国肖像　初代　豊國（文化九年）
一、初代歌川豊国肖像（稽古屋兵衛）　同　（文化十年）
一、男山錦御代（稽古屋兵衛）　同　（文化十年）
一、錦絵紙細工　同　（文化十年頃）
一、武田騒　同　（文化八年）
一、役名絵附（お染久松）　同　（文化八年）
一、役者絵附（国貞）　同　（文化八年）
一、役者絵附（国貞）　同　（文化十年）
一、役者絵附（国貞）　同　（文化十年）
一、役者絵附（国貞）　同　（文化十

（第二版）（原稿配信）（電報）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年一月二十一日（金曜日）臺灣日日新報 第一万三千三百五十九號

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木 清
臺北市榮町三丁目七番地
臺灣日日新報社 電話（代表）五四〇一番 編輯局 二二〇五番 振替口座臺北二番
料金 普通配達 一ヶ月金壹圓五拾錢 三ヶ月金四圓五拾錢 半ヶ年金八圓 一ヶ年金拾六圓（日本國內及支那各地）
料金 特別配達 一ヶ月金壹圓貳拾錢 三ヶ月金三圓六拾錢 半ヶ年金七圓貳拾錢 一ヶ年金拾四圓
定価 一部金六錢（但し一ヶ月以上前金の場合は一部金五錢）

社說 形式主義より內容本位へ

總督府の人事銓衡方針

小林總督就任以來の總督府人事が、大體に於て公正にして妥當、その形式も整つて來つたことは、何人も認むる所であらう。よしその一部分に於て缺點と稱し難きものがあつたとしても、次善あるひは三善の措置として、當時の四圍の情勢よりしては、これを承認せざるを得ぬものであることをも、世人の諒解するに吝かでない。此の點に於ては當局の苦心を察し、その人事の發表を待つ所である。此の點に於ては當局の苦心を察し、その人事の發表を待つ所である。

小林總督就任以來の總督府人事が、大體に於て公正にして妥當、その形式も整つて來つたことは、何人も認むる所であらう。よしその一部分に於て缺點と稱し難きものがあつたとしても、次善あるひは三善の措置として、當時の四圍の情勢よりしては、これを承認せざるを得ぬものであることをも、世人の諒解するに吝かでない。此の點に於ては當局の苦心を察し、その人事の發表を待つ所である。

人の諒解する所である。此の點に於ては當局の方針に對して安心し切つていいのであつて、官紀肅正の氣運が、平穩のうちに安んじてその徹底に精勵するとの點を以て妥當な措置と認めつつあるのも、一ぱその效果であらう。併しながら、その形式を墨守に陷り入るきに亘つて專用せらるゝ時は、そこに新なる憎惡をさそうの憾れが多分にあることをは忘れなければならぬことは、既に屢々指摘した通りである。

二

現行されつつある總督府の形式主義人事は、當つて願る適當の效果を擧したる所を認めつゝ、その據るべき基礎たる人事當局者の明察に俟ち度いと共に、多大の效果を發揮せんとしたる上に、各人の職責を完うし得るやう、その權限を適當に與へて、その職責を全うせしむるの方針を採つたことは、當局の苦心を察し、その人事の發表を待つ所である。

三

現內閣に於ては既に官紀制度の改正を企圖して、多くの內閣制度に於ては官紀の改正に關して安心しもあつたが、從々これが實行に決なる危惧を伴ふなき限り、極めて必要なる改正と稱し難いものが傳へられてゐるが、その中に行政官試驗制度の採用といふが含まれてゐる。これは現行官吏試驗制度の缺點を補ひ、ひいては現行官吏の素質を改善しようとの意圖に出でたものであらうが、單に國家試驗に必須なる科目にのみ專念するの弊に陷り、人格の陶冶を等閑視するが如き弊風の生ずるやも否や、殊に複雜なる時務を解するに處して行き得るや否やはそれほど簡單に解決せらるゝものではないのである。さすればそこに「試驗」の期間があつて、その期間中に不適との鑑定がつけば將來に去るべきは勿論のことで、今日の如く、漫然ふくべんとして居れば猶も好ましからざる弊害を釀すに至るやも知れぬ。

四

それのならず、これに依つて有資格者なるが故にとの目標から、その後に於ける勉學を怠り、人格の陶冶を閑視するが如き弊風も、皆無とは言ひ得まい。總督府には今尙はその有資格者を採して居るとは傳へられるが、これ等の任官登用に當つては、未だ試驗の制度は無くとも、その適否を以つて之に臨み、若くも不適當はこれを用ふべきでは毫もあるまい。行政官の不適者が地方自治の振興なる地位に就いたので地方民の困惱も思はねばなるまい。即ちここに於ても形式主義より內容主義、實質主義への轉移を看過せざるを得ないのである。

戰時下の議會に臨む
政府政黨の陣容整ふ
政府の政綱政策決定

【東京二十日發同盟】第七十二議會休會明け前にて政府は二十日午前九時より首相官邸に樞密院議長の一般施政に關する諮詢會議を開き、更に午後一時三十分より臨時閣議を開き議會開會後に於ける施政方針を決定したる後同日午後三時より第六十六回帝國議會を開き、町田總裁より三十年度の豫算を附し、町田總裁起つて別項の如き演說を爲し同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

政友會

【東京二十日發同盟】政友會は二十日午後一時より本部に定時大會を開催し、前田、島田、中島各代議士より昨年十月以來各地に開催せられたる國民精神總動員運動の經過報告あり、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に散會した

民政黨

【東京二十日發同盟】民政黨は休會明け前に開催し午後一時より本部に定時大會を開催し、前田、島田、中島各代議士より昨年十月以來各地に開催せられたる國民精神總動員運動の經過報告あり、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に散會した

政民兩黨勢揃ひ

【東京二十日發同盟】第七十二議會に於ける政府の施政方針演說は二十日午前十時より樞密院において諮詢會議の開會を開き次いで同午後二時より貴族院を、同四時より衆議院を各開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】二十日の議會は午後二時二十分より貴族院を開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】政府は二十日午前九時より首相官邸に樞密院議長の諮詢會議を開き議會開會後に於ける施政方針を決定したる後同日午後三時より第六十六回帝國議會を開き、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】第七十二議會に於ける政府の施政方針演說は二十日午前十時より樞密院において諮詢會議の開會を開き次いで同午後二時より貴族院を、同四時より衆議院を各開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】二十日の議會は午後二時二十分より貴族院を開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】政府は二十日午前九時より首相官邸に樞密院議長の諮詢會議を開き議會開會後に於ける施政方針を決定したる後同日午後三時より第六十六回帝國議會を開き、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】二十日の議會は午後二時二十分より貴族院を開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】政府は二十日午前九時より首相官邸に樞密院議長の諮詢會議を開き議會開會後に於ける施政方針を決定したる後同日午後三時より第六十六回帝國議會を開き、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】二十日の議會は午後二時二十分より貴族院を開會、町田總裁起つて別項の如き演說を試み同四時散會、引續き總裁の招待會に移り盛會裡に六時すぎ散會した

【東京二十日發同盟】第七十二議會に於ける政府の施政方針演說は二十日午前十時より樞密院において諮詢會議の開會を開き次いで同午後二時より貴族院を、同四時より衆議院を各開會

時局反映の 殖産局豫算

新規四百五十五萬圓 (五)

纖務課

一、石油保有補助に要する經費　二九、四九五圓

我國は石油資源に乏しいので常時相當量の貯油を必要とする、彼に昭和十二年度より石油業者をして貯油一個當一個宛の平ケ年分消費量を貯藏せしめてゐる

一、航空機料油並水素製造工業實驗に要する經費　二〇七、七八八圓

昭和十二年度繼續ニ十ケ年機關燃料並ニ水素製造實驗ニ要スル經費ニ十二萬一千百六十五圓

一、石油試掘奬勵に要する經費　六〇四、三二〇圓

本邦は石油資源に乏しい故燃料は未開發油田多いので之を開發する爲め國費十萬圓を以て試掘奬勵補助をなして來たが十三年度より三ケ年繼續事業として千五百米油井二千六本試掘せしめ經費年額補助二十萬圓を以て計上されるものである

一、航空機料油並水素製造工業實驗に要する經費　二〇七、七八八圓

昭和十二年度繼續ニ十ケ年機關燃料並ニ水素製造實驗ニ要スル經費ニ十二萬一千百六十五圓

之に對し政府は經費半額補助をなして計上されるものである

一、合成石油用原料ガス製造實驗に要する經費　二五三、四五九圓、增員技師二、屬一、技手三

新竹の天然ガス研究所に於て天然ガスより航空燃料油並に水素瓦斯造の中間工業實驗中であるが、更に十三年度に於て工業試驗を續行するため前記の新豫算を認められた十二年度に於ては初年度繼續二十万圓位を使用したのち十三年度の實驗經費は前規と合して二十四万圓位となる

一、合成石油用原料ガス製造實驗に要する經費　二五三、四五九圓、增員技師二、屬一、技手三

新竹の天然ガス研究所に於て天然ガスより航空燃料油並に水素瓦斯造の中間工業實驗中であるが、更に十三年度に於て工業試驗を續行するため前記の新豫算を認められた十二年度に於ては初年度繼續二十万圓位を使用したのち十三年度の實驗經費は前規と合して二十四万圓位となる

一、天然ガス研究所修繕費　六六六圓

一、選鑛製鍊場建設助成補助　三二〇、〇〇〇圓

金の增產奬勵二ケ年繼續增產と して製鍊場を各々二ケ所設二ケ年間計六ケ所を繼續せしめるため二十萬六十六万四千圓補助をなす

一、石油試掘奬勵に要する經費　六〇四、三二〇圓

本邦は石油資源に乏しい故燃料は未開發油田多いので之を開發する爲め國費十萬圓を以て試掘奬勵補助をなして來たが十三年度より三ケ年繼續事業として千五百米油井二千六本試掘せしめ經費年額補助二十萬圓を以て計上されるものである

一、航空機料油並水素製造工業實驗に要する經費　二〇七、七八八圓

昭和十二年度繼續ニ十ケ年機關燃料並ニ水素製造實驗ニ要スル經費ニ十二萬一千百六十五圓

金の增產奬勵二ケ年繼續增產と して製鍊場を各々二ケ所設二ケ年間計六ケ所を繼續せしめるため二十萬六十六万四千圓補助をなす

一、天然ガス研究所修繕費　六六六圓

一、選鑛製鍊場建設助成補助　三二〇、〇〇〇圓

北支への 砂糖輸出

新年に入り激增

高雄港の輸出貿易は躍進

【高雄特電廿日發】高雄港一月中旬貿易は七萬圓以上の輸出超過にて好況を續けてゐる、殊に砂糖の輸出は旬を追ふて激增し、十八日は一萬二千噸、十九日は一萬三千噸、二十日は一萬四千噸の輸出を示し、二十一日は午前中に一萬噸の輸出を見、二十日までの輸出高は十萬噸を突破し、前年同期に比し七十四万六千七百十二圓を增加した、なほ上旬の輸出額四百万圓一千萬圓を合計せば約八千八万圓の巨額に達し、一月中旬の輸出高は前年同期に比べて十九万圓の減額にすぎず、他方輸入は八十五万七百四十二圓にして十旬に見た活況は衰へず、前年同期に比し七十七万一千百十二圓を增退してゐる、之れ大豆、油粕、硫安が入超となつたに過ぎないからで、大豆、油粕の輸入額は一般經濟の進展に伴ふ當然の輸入增と見做され、硫安の輸入は新竹州に於ける肥料工場の生産增加に伴ふ輸入減であるから、大豆、油粕、硫安を除いた輸入額は一般經濟の進展に伴ひ增加しつつあるとも見做され、他方輸出は右の外客港が中旬に於て二千三百五十八円、輸入があつたのみで殆んど入超である

酒、煙草の 消費は殖える

嘉義專賣支局管內實績

十四円六十八錢、昭和十二年度(四月一日)百四十七万六千七百二十五円八錢(增加率一%)

▲煙草(十二年度)二百二十八万二百四十一錢、十二年度二百六十七万八千八百五十九円四七錢(增加率一七・四八%)

▲酒精(十二年度)十万九千四百十二円十二錢、十二年度十二万六千六百二十四円二錢(增加率一五%)

旬の輸出額四万五千噸を合計せば約八十八万噸の巨額に達し、一月中旬輸出高は前年同期に較べて七十九万六千七百十九円の增加額にすぎず、他方輸入は八十五万七百四十二円にして十旬に見た活況は衰へず、前年同期に比し七十七万一千百十二円を增退してゐる、之れ大豆、油粕、硫安が入超となつたに過ぎないからで、大豆、油粕の輸入額は一般經濟の進展に伴ふ當然の輸入增と見做され、硫安の輸入は新竹州に於ける肥料工場の生産增加に伴ふ輸入減である

臺北驛の 改築工事

材料官給卅九萬圓で落札

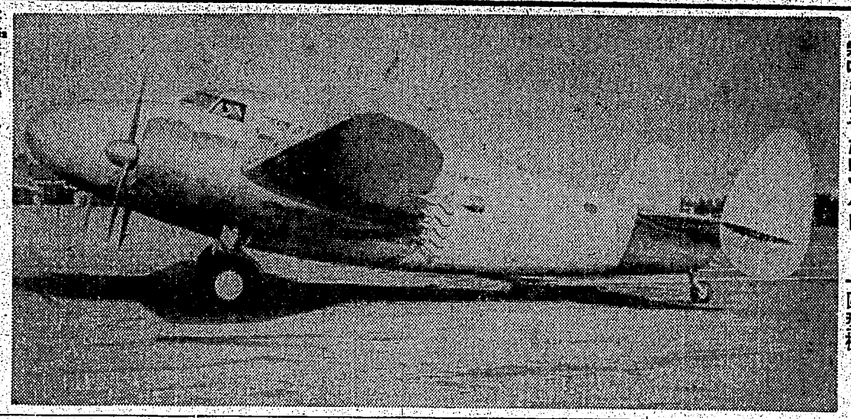
大谷北の裝飾として其の改築が北支那の玄關として其の改築が北支那の玄關として其の改築が北支那の玄關

科學

ロックヒード機とは

（三）

大竹文輔



新味を見せたロックヒード一四型機

エンデナセルは非常に巧に設計されて居るので、この有無が主翼の揚力に影響せず、即ち空氣抵抗が減少して居ることが證明された。

發動機は發動機臺で載せてあるが、がたつくなどということがなく、しかも取り外しが容易であるといふ。

カウリングは非常に軽く、その上に覆ひには力を持たしてないから、深山に大きな孔が開けて点檢や手入が便利になつて居る。

ナセルは發動機を支へるだけでなく、燃料槽も支持して居り、ナセルの全部分は前と後桁からなるやうになつて居る。

車輪は引込式で車輪はナセルの直下にあつて終上方に引揚げられる關係になつて居る。

車輪の大部分は翼と共にナセルの中に引き込まれるが、車輪の一小部分は露出して居るため、前述の飛行機は空氣抵抗が減少されて居る。

例へば發動機架、發動機用カウリング、燃料槽等で、これ等はいづれも左右に交換することが出來るやうになつて居るのはロックヒード機が誇る設計の一つである。

ナセルの内部構造も非常で、車輪を引揚げたままで不時着陸をしなければならないやうな場合が生じたにしても、その衝撃に耐へ得る。

エンデナセルは非常に巧に設計されて居るので、この有無が主翼の揚力に影響せず、即ち空氣抵抗が減少して居ることが證明された。

發動機架は鋼管製で載せてあるが、がたつくなどということがなく、しかも取り外しが容易であるといふ。

カウリングは非常に軽く、その

例へば發動機架、發動機用カウリング、燃料槽等で、これ等はいづれも左右に交換することが出來るやうになつて居るのはロックヒード機が誇る設計の一つである。

ナセルの内部構造も非常で、車輪を引揚げたままで不時着陸をしなければならないやうな場合が生じたにしても、その衝撃に耐へ得る。

二酸化炭素入 電球の發明

—白熱電球の一大進歩—

白熱電球に二酸化炭素ガスをいれて光度を高める方法は最近の發明だが、アメリカでは既にこれを工業的に生産する點に進した從來、二酸化炭素を電球に利用するにはそのスペクトルが白色な爲め眞で各方面で注目され多くの試みがなされたが壓力を通すとガスが膨脹される傾向があり網は焼切れに終つた點があつた。二酸化炭素ガス入の電球に透る電力に、ある關係をすれば、ガスは膨脹されず、白熱線としての效果を最高度に發揮することが出來ることが判明した試である。

一科學小話一

南アフリカ・トランスヴアールの本年度産金額は前年度に比し遙かに多量となる見込みである。一例を七月中の月産額にとれば、昨年の七、〇〇〇オンスに比し、本年度は九九六、五〇〇オンスの産額を示してゐる。

×　×　×

鯨肉の桝木は丸木を使用してはならぬ、宜しく總て角材を用ふべきであると提唱したアメリカの鐵山監督がある。鯨肉の危險防止がこの提唱の主眼目的だといふことである。

×　×　×

アメリカ西刀のカルフオルニヤインデヤンの言葉は人類學者の說によれば、決して饒舌なものではない。といふ訳はその單語数が約二千五百に上るからだといふ。

科學者の夢

—遠い未來の生命の研究—

ロチエスター發聯合科學通信（米國）現代バーカー博士は國民科學アカデミー年次總會の席上將來の自然科學の開拓について左の如き興味ある演說を行つた。

○

人類の文化の高度に發展したる結果、十數萬年乃至十二萬の長年月を經つことも可能たらうと思はれる。十數の惑星をも一つ地球上迄を經つことは現在の科學力をもつてしては不可能ではないが、將來も不可能が保證することは考へられない。

若しこれが完成するとせんか、宇宙線の影響から全然離れた場所にあつて、生命に關する面白い研究が出來る譯である。地球の放射に影響する部分以上に進んだその場所で、將來の科學者は恐らく宇宙線こそが生命のスペルムなることを發見するに相違ない。

將來の生物學者はホルモン研究の完成によつて、男女の區別さへ自由に素出し得る譯である。尤もこの際には生命が長期する際に用ひられるコレステリン（結晶）の添生が可能であるか否かに問題はかかつてゐる。

○

この物質の使用の效果を想像してみることは快感である。例へばその作者は男女の區別を撤廢すると言ふ。バーカー博士は次の如く言ふ。

「この問題の回答は將來を俟つ以外にないと思ふ。一部の心理學者は現在既に充分らしい答をもつてゐるやうであるがこれに就いては不可能である。しかしながらこの問題についての回答ことは今直記中に一部だけでも果さねばならない將來の最大研究の一つであることへ考へる三人。

○

人體部の命名法である解剖の體系はどんな風に變化するであらうか？

「この問題の回答は將來を俟つ以外にないと思ふ。一部の心理學者は現在既に充分らしい答をもつてゐるやうであるがこれに就いては不可能である。しかしながらこの問題についての回答ことは今直記中に一部だけでも果さねばならない將來の最大研究の一つであることへ考へる三人。

博士の考へたるところは實に興味深いものである。

一科學小話一

南アフリカ・トランスヴアールの本年度産金額は前年度に比し遙かに多量となる見込みである。一例を七月中の月産額にとれば、昨年の七、〇〇〇オンスに比し、本年度は九九六、五〇〇オンスの産額を示してゐる。

×　×　×

鯨肉の桝木は丸木を使用してはならぬ、宜しく總て角材を用ふべきであると提唱したアメリカの鐵山監督がある。鯨肉の危險防止がこの提唱の主眼目的だといふことである。

×　×　×

アメリカ西刀のカルフオルニヤインデヤンの言葉は人類學者の說によれば、決して饒舌なものではない。といふ訳はその單語数が約二千五百に上るからだといふ。

慢性胃腸に オモトサン

醫界始めての 胃腸新藥！

俗に胃腸病と云ふ如く、胃に疾患があれば、當然腸に障害を生じ易く、殊に慢性症となれば、胃腸機能の殆んど全部にわたつて種々の障害を併發し其の治療法は頗る困難とされてゐます。

病源多き慢性症狀

即ち、慢性患者の胃腸結膜には、潰瘍カタル、或は糜爛面を生じ、……

(胃)に於ては消化液の分泌は一定せず、胃酸過多症、胃カタル、胃アトニー、並だしきは胃潰瘍、胃癌にまで惡化します。

(腸)に於ては有害細菌は繁殖し、此の細菌の産生する膨張及び腸内の腐敗醱酵物によつて下痢、消化不良、腸カタル、異常醱酵、便秘等の症狀を繰返し、榮養の吸收は充分ならず、次第に全身的に衰弱するのであります。

新胃腸藥つひに發見！

かくの如く慢性胃腸病の原因は頗る複雑であつて、單に一症狀、或は一臟害を治療するのみにては、到底根本的の全治は期し難く、之は實驗上、既に明かであります。

ここに於て、吾社は幾多の專門醫者の指導協力の下に多年苦心研究の結果、つひに新胃腸藥ビオ・トモサンを完成しました。

このビオ・トモサンは、從來の消化劑、榮養劑、醗酵劑、或は、單獨主劑の胃腸藥とは全然、その本質を異にし、新發見の個膜被覆醗酵劑に、活力旺盛なる乳酸菌及び消化菌を含有せしめ、一劑にて次の如き綜合作用を發揮するのであります。

獨特の綜合作用

一、制酸作用——胃中の過剩酸を除去し、同時に胃の分泌腺を整調して胃液の分泌を正常化す。

二、被覆作用——胃腸粘膜の炎症、潰瘍、浮腫面を被覆保護して異物の刺戟をさへぎり之を治療す。

三、吸着作用——胃腸内の瘴氣、及び腸内腐敗物を吸收して大便中に排出し胃腸内を淸淨す。

四、乳酸菌作用——腸内に於て旺盛に繁殖して、各種の有害病菌を殺菌す。

五、消化菌作用——食を分解し、蛋白質の消化を助け榮養分の吸收を促進す。

即ちビオ・トモサンは、この綜合作用によつて急性的の下痢、嘔吐、腹痛は勿論、特に多年にわたる慢性胃腸患者に、之を服用せしむれば、一劑を以てその病源を綜合的に治療し、短期間にその快癒を促進するのが特長であります。

B.1133 友田

齒痛頭痛はガオガンに限る

臺日ハイキングコース

（近畿篇）

一冊　金臺圓　發賣所　臺日商事課

普及粉乳（葡萄糖配合）

森永ドライミルク

森永のみの有する世界最新式の噴霧法に依り繁殖せるため榮養風味を完全に保有す

脂肪球細かく蛋白質が消化し易くなつてゐるため生牛乳より同化吸收速し

水にも湯にも容易に溶け使用極めて簡便

種類　有糖…母乳と同成分
　　無糖…生乳と同成分

森永製品發賣元　森永ドライミルク　森永パウダーミルク

森永製品發賣元　臺灣販賣株式會社

コイアカリメラマモル

小學校兒童 圖畫募集

課題　圖畫「あかりに關するもの」

例へば　ともしび、電燈、提灯、蠟燭等を主體とせるもの

條件
1. 作文は原稿用紙二〇字詰二〇行一枚のこと
2. 短歌、俳句は右原稿用紙に三句以內のこと
3. 圖畫は四ツ切圖畫用紙（三八糎×二九糎）にクレパス、パステル又は水彩にて描くこと
4. 作文、短歌、俳句共各別に左枠外に、圖畫は裏面に學校名、學校所在地、學年別、姓名を明記して下さい

（個人の住所は書かないで下さい）

締切　昭和十三年二月十日到着の分を以つて締切る

送先　神奈川縣川崎市　東京電氣株式會社照明學校宛

特選　腕時計一個宛　計六〇名

賞品　通園用手提鞄　一個宛　計四〇〇名

佳作　鉛筆削　一個宛　計四〇〇名

發表　昭和十三年三月中旬新聞紙上にて特選を發表

學校へ記念品贈呈

特選者決定の學校に對し記念品として大型電氣時計一個を贈呈致します

女学校生徒 俳句・短歌・作文・図画 募集

マツダランプ　真空管

東京電氣株式會社　元逓製

マツダ